

1. 今日は、バプテスマのヨハネさんについてお話ししましょう。
ヨハネさんは、イエス様が登場するちょっと前から活躍していた人です。
2. ヨハネさんは、みんなが楽しい遊びをしているような町の中には住まないで、荒野に住んでいました。
そういう静かな場所で、神様にお祈りして、神様のお役に立つようにと頑張っていたんですね。
3. そして多くの人たちに、バプテスマ、つまり洗礼を授けていたんです。だからヨハネさんは、バプテスマのヨハネって呼ばれているんだよ。
この絵のように、次々と人々がヨハネさんのもとに訪れ、自分の罪を悔い改めて、洗礼を受けました。
4. ある時には、イエス様がやってきてこう言ったのです。

イエス様「さあ、私にもバプテスマ(洗礼)を授けてください」

ヨハネ 「じよ、じよ、じょうだんじゃありません！私こそイエス様からバプテスマを受けなくちゃいけないのに、どうして私が神の子であるイエス様にバプテスマを授けるのですか!？」

イエス様「今はそれが必要なのですよ、さあ私にバプテスマを授けておくれ」

こうしてイエス様もまた、ヨハネさんからバプテスマ(洗礼)をお受けになりました。

5. ところがそんな人たちにまざって、パリサイ人^{びと}やサドカイ人^{びと}という人たちもいたんです。この人たちは、真面目に神様を信じて、罪を悔い改めて、素直な心で洗礼を受けたいと願っていたわけじゃありません。人々の関心をかおうとして、汚い心のままで、興味本位でヨハネさんのところへ来ただけだったのです。
6. だからヨハネさんはこの人たちに向かって、「マムシの子！」と言いました。
ところで「マムシの子」って、どういう意味だろうね？
7. マムシって、ちょっとずるがしこいイメージがあるよね。そう、そんな意味なんだ。本当はすごく汚い心を持っているのに、「私はとっても美しい心を持っていますよ」なんて顔をしている人たちのことを、「マムシの子」って呼んだんだね。
8. イエス様は、こうおっしゃいました。

「光の子どもとなるために、光を信じなさい。」ヨハネ 12:36

これは、「神様の子供になるために、神様を信じなさい」っていう意味だね。

9. マムシの子と光の子・・・ずいぶん違うねえ。どっちが強いと思う？ マムシかな？ 光かな？
10. そう、光の方が強いよね！
何でわかる？ マムシはさ、光を見ると、「うわ～、まむしい～(まぶしい)」ってなっちゃうんだよ・・・
なんちゃって、それはじょうだんとして・・・
マムシのような悪い力は、神様の聖い光の力には、絶対に勝つことは出来ないんだね。
11. もう一つの聖書のことばを紹介しましょう。

「光の子どもらしく歩みなさい。」エペソ 5：8

私たちはこれからも光の子供らしく、神様の光の中を歩み続けましょう。 おしまい。